

ENEOSセルテック新工場の竣工について 家庭用燃料電池コージェネレーションシステム「エネファーム」

記者各位

当社(社長:西尾進路)が三洋電機株式会社と合弁で設立した株式会社ENEOSセルテック(社長:一色誠一 以下、ENEOSセルテック)は、本日、家庭用燃料電池「エネファーム(ENE・FARM)」の新工場を竣工しましたので、お知らせいたします。

エネファームは家庭部門における温暖化対策の切り札のひとつとして早期の普及が期待されており、当社は、本年5月より商品機の予約販売を開始いたします。

ENEOSセルテックでは、これに併せ、新工場の稼働を開始するとともに、2010年度には年間約1万台の量産が可能な体制を確立してまいります。今般の新工場立ち上げおよび年間約1万台体制確立に係る投資額は約20億円を見込んでおります。

さらには2011年度以降も追加投資を行い、2015年度までに年間約4万台の生産体制を整備することにより、2009年度から2015年度までの累計で約15万台の生産を行う予定です。

当社グループは、エネファームをはじめとした「地球環境に優しい家庭用エネルギーシステム」普及促進の取り組みにより、エネルギーの未来を創造し、人と自然が調和した豊かな社会の実現に貢献してまいります。

記

【新工場の概要】

1. 所在地 群馬県邑楽(おうら)郡大泉町坂田一丁目1番1号
(三洋電機株式会社 東京製作所内)
2. 生産機種 LPGおよび都市ガス仕様 定置用燃料電池システム(エネファーム)
3. 生産計画 2009年4月 稼働開始
2010年度 年間約1万台生産体制確立
2015年度 年間約4万台生産体制確立
* 2009年度~2015年度 累計約15万台生産を予定

【株式会社ENEOSセルテックの概要】

本社・事業所 群馬県邑楽(おうら)郡大泉町坂田一丁目1番1号(三洋電機株式会社 東京製作所内)
資本金 1億円
株主構成 当社 81% 三洋電機 19%
事業概要 定置用燃料電池システムの開発・企画、システム設計、生産管理

以上





家庭用燃料電池コージェネレーションシステム

ENE・FARM
エネファーム